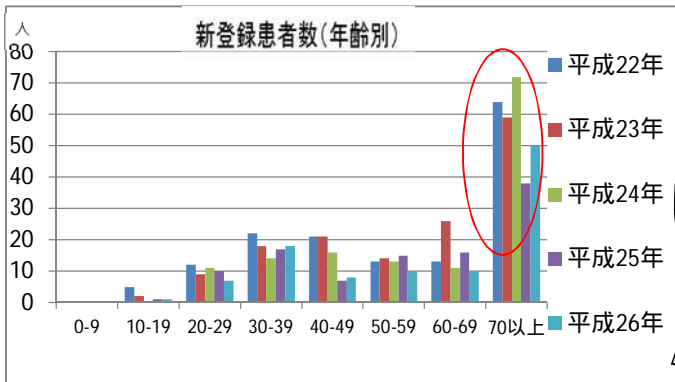
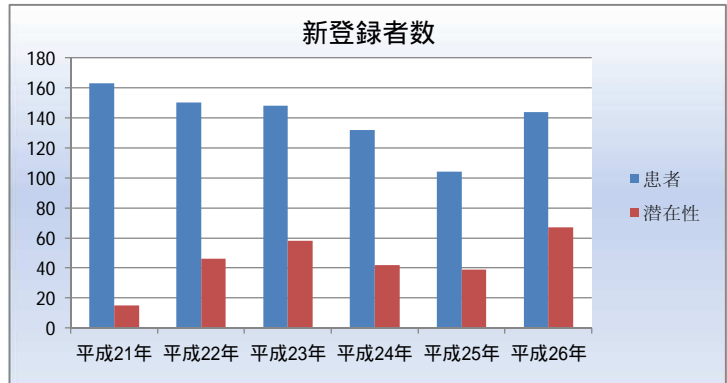


平成26年練馬区の結核の状況

結核対策の状況

患者は平成21年をピークに減少していましたが、平成26年は患者、潜在性結核を含め増加しました。70歳以上の高齢者の増加が目立っています。

平成26年新規登録患者 144名
 ・肺結核塗抹陽性患者 49名
 ・その他の結核患者 95名
 平成26年新規潜在性結核感染症患者 67名



患者数は**高齢患者**の割合が高く、高齢者の結核対策は重要な課題となっております。高齢患者の症状は典型的な咳、痰のような症状ではなく、**体重減少**や**活気の無さ**といった一見結核とは分かりにくい症状で現れることが多いです。次世代に結核を拡げないためには、高齢者ご自身や身近な方々が早く症状に気づき、**医療機関の適切な検査（喀痰検査等）による早期発見**が大切です。



【トピックス1】発見の遅れ（平成26年）

「**受診の遅れ**」は若い世代に多く、「**診断の遅れ**」は高齢者に多い。そのため、「**発見の遅れ**」は若い世代も高齢者も万遍なくいる。

発見の遅れ(年代別)	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	計
【受診の遅れ】 発病～初診2か月以上	3	1	4	0	0	1	1	10
	30%	10%	40%	0%	0%	10%	10%	100%
【診断の遅れ】 初診～診断1か月以上	2	2	2	3	4	7	7	27
	7.4%	7.4%	7.4%	11.1%	14.8%	25.9%	25.9%	100%
【発見の遅れ】 発病～診断3か月以上	3	2	4	0	1	3	3	16
	18.8%	12.5%	25.0%	0.0%	6.3%	18.8%	18.8%	100%

更なる患者数減少のためには高齢患者の早期発見が重要な課題です。一方で、若い世代の患者も依然として発見されており、若い世代への対策も不可欠です。それぞれの世代の特徴は以下の通りです。

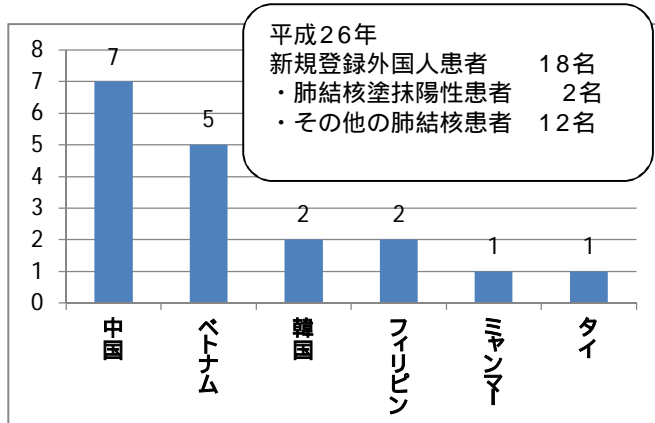
高齢者は「診断の遅れ」！

高齢者には診断の遅れが多く見られ、診断の遅れをなくすために高齢者の初発症状の特徴（体重減少、活気の無さ）や適切な検査（喀痰検査等）について医療機関へ更に周知していきたいと思います。

若い世代は「受診の遅れ」！

特に20～30代の若い世代に受診の遅れが多く見られ、この世代に向けた早期受診の更なる普及啓発が必要だと考えています。

【トピックス2】外国人登録者の分析（平成26年）



平成26年
新規登録外国人患者 18名
・肺結核塗抹陽性患者 2名
・その他の肺結核患者 12名

近年、様々な目的で結核の高蔓延国から入国する外国人が増加しています。

結核は服薬治療の必要性を患者が理解することが非常に重要であり、治療中断がないように保健所が支援しています。

また、感染拡大防止の観点からも配慮が必要な人達だと考えています。

【トピックス3】服薬支援で薬局が大活躍！（薬局DOTS）



・DOTS（直接服薬確認療法）とは？

患者の治療完了率を高め、再発予防に努めることは結核対策において重要な柱です。そこで大切になるのは確実に抗結核薬を一定期間服薬することです。結核治療中の患者様が服薬を忘れてしまったり、中断してしまうことのないように、お一人おひとりに合わせた方法で、服薬確認を行う服薬支援をDOTSといいます。また保健所がDOTSを行うことで、患者様の状況や検査結果などを把握したり、患者様との信頼関係を築いていくことにもつながります。

・薬局DOTS

薬局と保健所が契約し、薬局で患者様の服薬確認を行います。保健所が患者様のリスクアセスメントを行い、服薬支援の頻度（毎日～週1回程度～月1回程度）を決めて、薬局へ委託します。毎日薬局で服薬される方や、自宅で飲んだ薬の空袋を定期的に薬局へ持参されて服薬確認しています。

高齢者や独居の方の服薬支援で、身近な薬局が大活躍しています！

協力薬局にDOTS支援を実施した感想を聞きました！



80代女性 毎日
薬局DOTS

認知症の患者様が退院し、自宅療養をするにあたり保健師から声がかかり服薬支援することとなりました。当初は自宅から薬局までの道のりで迷子になったり、心配な時期もありました。しかし、在宅ヘルパーの付添もあり、無事毎日の服薬確認を薬局で行うことができました。毎日の服薬支援で患者様の治療にしっかりと寄り添うことができたと思います。



さいごに・・・

薬局DOTSは、高齢者世帯の方や精神疾患のある方、または支援者のない方を中心に導入していることが多い状況です。

また、若い世代の方の中で、内服を飲み忘れてしまったり、中断するなど服薬がいい加減になってしまう事例があります。平成27年度には、これまで以上に薬局DOTSを導入・活用し、働く若い世代の方々も含め治療完了ができるよう服薬支援を行うことを目指します。

薬局DOTSでは、薬剤師さん大変お世話になっており、感謝しております。

保健所では一層の結核対策の強化を進めて参ります。そのためにも、関係機関のみならずより一層連携を強化していきたいと考えております。今後ともどうぞよろしくお願い致します。



発行：練馬区保健予防課 感染症指導係

電話03(5984)4671